

わきのしま

平成25年 11月29日
多治見市立脇之島小学校
学校報 第9号

「一人一人を大切にすること」 ～多治見子ども人権の日～

今月11月20日はたじみ子ども人権の日でした。本校では、11月27日（水）に人権擁護委員の疋田美鈴様と新井正三様をお迎えして、人権についてお話を聞く機会をいただきました。



疋田様からは、全校朝会で「友達や地域の方々へのあいさつ」について、人権とからめて分かりやすく教えていただきました。お話の中で「あいさつしても返してくれなかった経験のある子」と問いかげられると、ほとんどの子が手を挙げました。「そう」と大きくうなずかれた後、あいさつを返してくれなかった子に対し、「その子はいろいろと考え事をしていたかも?」「朝から家でしかられていたかも?」「相手を思いやる気持ち」について考えることの大切さや意味について教えていただきました。

このお話をきっかけに、全校一斉に人権に関する学活を行いました。毎日のくらしの中には、友達を知らず知らず傷つけている言葉(チクチク言葉)や「ありがとう」「がんばったね」など励まされてうれしかった言葉(ほかほか言葉)があります。今一度みんなで出し合うことで、自分を見つめ直すことができました。5年生の学活では、新井様から「己の欲せざる所人に施す勿れ」と「自分がされて嫌なことを友達にしていますか?」と問いかげられ、「嫌な気持ちになったときには、一人だけで考えず相談するんだよ」と教えていただきました。



今年度も脇之島小学校では、「友達と仲良く遊べているか」「いじめを受けていやだと思わないか」など一人一人の気持ちをとらえる「なかまアンケート」を定期的実施しています。これは、「いじめはこの学校にもある」との認識から、いじめの未然防止と早期発見、早期対応をするために実施しているものです。一人一人の気持ちに寄り添いながら、今後いじめのサインを見逃さないように、学校・家庭・地域が協力して取り組んでいけるようご協力をお願いします。

生き生きと表現！ 脇っ子フェスティバル ～保護者・地域の皆様の声援に支えられて～

今年度も脇之島小学校の体育館は、子ども達のすばらしい合唱と合奏で寒さを忘れるどころか、熱気と感動に包まれました。どの学年もこれまで心を一つにして練習してきた成果を最大限発揮し、保護者や地域の皆様の前ですばらしい発表を披露できました。

このように子ども達が精一杯頑張ることができるのも、どの学年にも大きな拍手を送っていただいた保護者や地域の皆様の励ましがあってこそです。心より感謝申し上げます。

午後には親子芸術鑑賞会を開き、劇団風の子による「かぶとやま大騒動」という演劇を見せいただきました。迫力ある演技に子ども達も目を丸くしていました。こうしたプロの表現に触れることも大切な経験でした。お忙しい中多くの保護者の皆様にご参観いただきありがとうございました。

